

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

202号

2018年6月30日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 院内集会・署名

この問題で様々な団体・個人が参加している「羽田増便による都心低空飛行計画に反対する東京連絡会」が計画の中止を求めて10万人目標の署名運動を始めました。

東京連絡会は6月14日には衆議院第2議員会館で院内集会を開いています。地味ですが、院内集会には国交省の役人や衆・参議員、地方自治体議員なども出席します。しかし、一番被害の大きい太田区議会など、地方自治体によっては、住民の健康や生命の危険よりも経済的・政治的利害を優先する議員が多いこともあり、反対の声はなかなか国を動かすまでになっていないのです。

こんなひどい計画を実現しなければならないようなオリンピックって何なんでしょう。平和の祭典たるべきオリンピックさえ開催の意義が台無しになりそうです。

落下物の危険は相変わらずで、5月24日熊本空港を出発した日本航空機（ボーイング727型）が上空1800mでエンジン破損、破片を136個もまき散らし、病院や建物、車の窓や屋根を破損した件では、これが羽田であったら川崎コンビナートが大火災になっていたかもしれません。

○ 常盤台が新聞に載りました

6月9日の東京新聞「東京どんぶらこ」欄に常盤台が特集されていました。

この「東京どんぶらこ」には、以前にも取り上げられたはずと思い、調べると2005年6月26日朝刊とわかりました。「まちづくりニュース」51号に一部分を載せています。50号には日経と読売の常盤台の記事を載せていました。この頃、マンション紛争で関心を集めていました。

○ 常盤台駅改修成る

ロータリーの高い照明灯が撤去され、駅舎側の店舗の照明が無くなったのと、夜はかなり暗く感じるという人がいます。

また、仮駅舎の跡は5階建ての店舗兼事務所ができるようです。どんな店が入るのかも楽しみです。改修された駅舎とのバランスで、5階建ては高すぎるという声もあります。

北口住民が切望するエレベーターは、これから工事にかかり、使えるようになるのは11月ごろとか。「武蔵常盤小径」の展示は、いつも何人かが熱心に見入っています。

○ 駅舎改修についての茶話会

昨年、南宇都宮駅と常盤台駅の関係について、宇都宮美術館の方にお話しをうかがいましたが、同じように講演会といった大げさなものではなく、今回の保存事業に関わった社員の方に苦労話をして頂く茶話会を計画しています。

当初7月のはじめを予定していましたが、9月の金曜日の午後に向けて調整中です。場所は前回と同「ギャラリー服部」、要予約の予定

○ 景観市民ネットの公開研究会

時 2018年7月28日（土）

13:30~16:30

所 調布市国領市民プラザあくろす2階
会議室（京王線国領駅そば）

参加費 1000円 申し込み不要

講師 和田喜彦さん

伊波克典さん

清野比咲子さん

泉 浩二さん

「エコロジカル・フットプリントについて」
（裏面に簡単な紹介をします。）

振り込め詐欺

常盤台でも振り込め詐欺やオレオレ詐欺にひっかかった人がいるらしい。実際の被害者には会ったことはないが、未遂の話はよく聞くので、二、三ご紹介しよう。

・区の税務課と称して電話が来る。還付金云々の話を始めるが、電話機の表示を見ると「非通知」である。区役所ならなんで非通知なのか、と聞くと、では区の電話でかけ直します、と言って切れた。その後はかかってこない。

・区役所の健康保険課の者だが保険料が二万三千元、納めすぎになっていたので還付申請の書類を昨年送ったが見たか「覚えていない」というと、「本日を「再設定日」にするから改めて手続きしてくれ。銀行はどこか」という。××銀行と言つと、「そこでは手続きできない。〇〇銀行か△△銀行に行つて下さい」と強制する。だいたいそちらのミスなんだから、再度手続きの書類を送つて下さい。と言つたら切れてしまった。

・子供はいないのでオレオレ詐欺には無縁と思つていたら、「△△おばちゃん？」と馴れ馴れしく聞いてきた。「あんた、誰？」と聞き返したら、疑われていると察したらしく切れた。甥は何人かいるが、頼まれても渡してやるようなお金はないし、大人なんだから自分で解決するか自分で受け取りにおいでと言つつもり。

こんな電話が来たら、警察や区役所に連絡して他の人への警告として役立てよう。

一・二丁目町会事務所の建て替え

一、二丁目町会の総会が、六月二日開催され、二六人の出席がありました。町会費が三三〇〇円から三〇〇〇円になりました。事務所の建て替えについては準備委員会のようなものを設けて検討するそうです。委員の人は不明です。

住民としては、事務所が当初、百坪ほどの庭付き一戸建てで東武鉄道から提供されていたのが、なぜ現在の形になったのか、その歴史をできるだけ正確に知りたいと思います。他の住宅地も所有している集会所について、常盤台の場合はどうだったのか、都市計画やまちづくりの研究者からの疑問となっています。改築が検討されている今、ちゃんとした経緯を知ることから、建て替えのあべき姿や透明な会計の必要性が見えてくると思います。

「エコロジカル・フットプリント」とは

表面で紹介している景観市民ネットの公開研究会で取り上げるエコロジカル・フットプリント（以下EF）は耳慣れない言葉だと思っています。

循環型社会の実現は、地球にとっていまや待ったなしの状況にあります。一九九一年カナダの学者を中心に、「地球一個分の暮らし」をEFとして提唱する運動が始まり、日本でも二〇〇六年、EF導入が閣議決定されているそうです。

二〇一七年七五億の人類が住む地球は、すでに地球一個では足りず、一、九個、日本人の生活レベルで全人類が暮らすと地球が二、九個必要となる、というように、数値化されるのです。では、東京は？板橋区は？

常盤台公園のはなづくり

六月八日に区から花苗が届き、Kさんの応援を得て、皆で植え付けました。思ったより短時間で済んだのは、今年は区の予算削減とかで、いつもより数が少なかったからかもしれません。大きな空き地ができてしまいましたが、二チ二チソウなどを補充しました。また、ひまわりの種をまきましたが、発芽はまだ確認していません。また、ポーチュラ力を挿し芽で増やしてみました。

まちを歩いていると、塀越しや門脇に、アジサイが咲いています。最近の花は色も形も種類が多く、散歩するだけで充分楽しめます。公園のアジサイはテッポウユリとの組み合わせで、素晴らしい見所となっています。

芝生の雑草はますます元気で、蚊に刺されながら頑張つて抜いてきれいになったと思つても、二、三日ですぐ新たな芽を出しているのです。

昔、ある歯医者さんが「植物はえらい。怠けることがない」と言っていたのを思い出します。確かに人間は植物と違って気分屋で、怠け者ですね。

今年もAさんのご好意で、常盤台産のマーマレードができました。有り難いことに「ギヤラリー服部」さんが受付に置いてくださることにになりました。いつでもギヤラリーに出でなるついでにお求めになれます。図書館前のチューリップの球根代や花の補充費になりますので、よろしくお買い上げを！